

小野郷だより

No. 5

京都市立小野郷小・中学校 (TEL. 406-2341) 校長 森 由紀子

夏休み終え元気に登校

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。今年度から年間授業日数が増えたため、夏休みは今までより少な目、それでも歯の白さが引き立つほど日焼けした顔での登校でした。

前期終業式までは40日程。その間に運動会・体育祭(9/24)という大きな行事があります。小野郷校での最後の運動会体育祭。今、子どもたちは、思いを込めて、暑さを乗り越え、練習に励んでいます。

今後とも、ご支援・ご協力よろしくお願いいたします。

自然の中での活動を通して子どもたちの仲間意識を高めようと、今夏もカヌー教室を8月2日に行いました。

去年は、和知町の由良川での開催でしたが、今年は琵琶湖で行いました。

スクールバスに乗っておよそ1時間半、蓬萊の浜辺に着くと、真夏の陽射しにきらめく湖面では、もうたくさんの人たちがカヌーを楽しんでいました。水着

に着替えた子どもたちは、まず浜辺で、パドルの持ち方や漕ぎ方など、ひととおり習った後、さっそくカヌーに乗り込みました。まず、直進や後退、右折や左折、回転したりとカヌーに慣れるための練習

琵琶湖でカヌー教室



手馴れた様子でカヌーを楽しむ子どもたち

です。すっかり勘を取り戻した子どもたちは、その後カヌーで鬼ごっこなどをして楽しみました。午後は、まず2組に分かれてのレース。沖のブイまで片道200メートルの折り返しです。バックでのレースでは、まっすぐ進めないでウロウロするなど、大声援と爆笑の中、大いに盛り上がりました。

カヌーに飽きてくると、今度は水遊び。水を掛け合ったり追いかけ合ったりと、水辺に喚声が沸き起こっていました。夏休みの琵琶湖でのカヌー教室、きっと子どもたちの心に残る楽しい思い出の一つとなったことと思います。

掛け合ったり追いかけ合ったりと、水辺に喚声が沸き起こっていました。夏休みの琵琶湖でのカヌー教室、きっと子どもたちの心に残る楽しい思い出の一つとなったことと思います。

運動場スッキリ

夏休みの登校日に美化作業



保護者や地域の人たちに協力してもらって、一緒に草抜きをする子どもたち

夏休みも残りわずかとなった8月20日の日曜日、保護者や地域のみなさんの協力を得て、校庭の美化作業を行いました。

毎年この時期、運動場の周囲には草がびっ



草が抜かれ、すっかりきれいになった運動場

しりと生えます。学校が日頃する草抜きだけでは追いつかず、どうしても草の生える勢いに負けてしまいます。この日は、40人あまりの人手がそろい、草抜きだけでなく、周りの生い茂った木も剪定していただくなど、2時間ほどの作業で見違えるほどすっきりとしました。

せつかくのお休みの日に、また大変暑い中、ご協力いただき本当にありがとうございました。

「ふるさとの歌」完成間近!

- ・小野郷への思いを込めた歌詞完成
- ・作曲家と話し合って詰め作業
- ・学芸会・学習発表会で初披露

小中学生が、休校に向けて取り組んでいる「ふるさとの歌」がいよいよ完成間近となりました。7月には歌詞が出来上がり、歌に込めた自分たちの思いを作曲者にビデオで伝えました。また、8月20日には、

子どもたちに直接会って話をさせていただく機会を持ちました。作曲者は、同志社女子大学音楽学部作曲科卒業後、ピアノの指導や作曲活動をしておられる富田さやかさんです。当日は、富田さんの問いかけに対して終始緊張気味の子どもたちでしたが、歌詞の一部変更など、最後の詰め作業をすることができました。9月に入るまでには曲も出来上がるとのこと、子どもたち共々完成が待ち遠しいです。

完成後は9月から合唱練習を行い、10月29日の学芸会・学習発表会の場でみなさんに披露する予定です。ご期待ください。

